



国際医療福祉大学  
市川病院  
病院長

大谷 俊郎

2021年4月1日付けをもちまして病院長に就任しました、大谷俊郎でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

国際医療福祉大学市川病院では外来診療のみならずリハビリテーション医療を含めた慢性期医療までを広く皆様にご提供しております。特に高齢者医療・リハビリテーション医療・神経内科領域には重点をおいており、私の専門分野である整形外科をはじめ各診療科が患者様の症状にあわせて専門的診療を行っています。

昨年七月に開設した神経難病センターでは、脳卒中・頭痛・めまいなどの脳神経疾患全般に対する外来医療を強化し、パーキンソン病やALSなど神経難病に対する入院医療も充実させています。また、同時期に開設した糖尿病・内分泌代謝センターでは実績のある医師やスタッフをそろえ、生活習慣病に広く対応しています。糖尿病による神経障害や腎臓障害、心臓病・脳卒中などに関連する診療科とも連携して患者様に寄り添う治療を心掛けています。

入院病床としては、急性期病棟128床、回復期リハビリテーション病棟43床、医療型療養病棟44床を有し、さらには、千葉県下で最大ベッド数である結核病棟45床を備えています。

新型コロナウイルス感染症に対しては、患者様の感染防止に最大限の配慮をし、外来入り口では体温測定を行い、発熱の訴えのある方には当院の建物とは隔絶されたテント内に発熱外来を設置して検査を行うなど、感染防止対策に努めておりますので安心してご来院ください。

地域の皆様に向けての医療情報発信はこのコロナ禍においては会場形式を避け、オンラインけんこう講座としてWebで定期的に発信しています。

2020年3月、同じ千葉県内に国際医療福祉大学成田病院が開院しました。高度で先進的な診療科・センターを持ち、最新鋭の機器を備えたアジアを代表する国際的な拠点病院をめざしています。当院は医学部をはじめ、成田病院やグループ関連施設と連携し、日本国内にとどまらず、世界に向けて医療情報を発信していきたいと考えています。

“一人一人の患者様を大切に、その方にとっての生活の質を向上させる”という病院としての基本的な使命を忘れずに、かかりつけ医のような大学病院をめざして職員一同尽力していく所存です。

何卒一層のご指導とご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

**プロフィール** 慶應義塾大学卒。英国リーズ大学に留学。医学博士。慶應義塾大学看護医療学部、大学院健康マネジメント研究科の教授を兼務。医学部整形外科、医学部スポーツ医学総合センターの教授を兼担。日本整形外科学会認定整形外科専門医・スポーツ医・脊椎脊髄病医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター、Best Doctors in Japan(2018~2020)



国際医療福祉大学市川病院